

# 平成29年度学校自己評価表

愛知産業大学工業高等学校  
全日制課程

評価項目	重点項目	具体的な取り組み	主な結果	自己評価及び課題等
教務 (学習指導)	1、基礎学力の向上と定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本を徹底して学習させる。</li> <li>○授業を生徒が主体的(参加型)に取り組む授業を展開する。</li> <li>○成績不振者に対して保護者・生徒との面談を実施し、意識改革を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2種電気工事士の合格者 前年度比54%減</li> <li>○電気基礎認定試験の合格者 前年度比120%増</li> <li>○基礎製図検定試験の合格者 前年度比47%減</li> <li>○基礎学力向上講習実施 夏期4日 冬期4日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科と連携し、それぞれの教科の重点項目として取り上げ、無理のない学習計画を立て、わかる所から始める授業を展開した。</li> <li>○資格取得に向けての学力の向上があまり見られなかったため今後、さらなる工夫が必要である。</li> <li>○今後も継続して英数国の3教科と専門教科(機械・電気)の向上を図る。</li> </ul>
	2、資格取得の奨励	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力向上講習の実施</li> <li>○年間予定表を配布し、積極的な受験を促す。</li> <li>○1学年は特にオリエンテーション合宿において資格取得の目標を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○愛知県知事顕彰受賞者 前年度比41%減</li> <li>○ジュニアマイスター顕彰受賞者 H29(ゴールド2名シルバー10名 特別表彰2名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ITパスポート・計算技術検定1級・第一級陸上無線技術士・日本語ワープロ検定1級・工事担任者デジタル3種など難易度の高い資格や検定の合格者があり、今後も指導体制の強化し合格者の増加を図る。</li> </ul>
	3、教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究(参観)授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間の研究(参観)授業の実施数 H29(17回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他教科の教員も参観し「わかる授業・きめ細かい授業」の指導方法の研究を今後も取り組む。</li> </ul>

評価項目	重点項目	具体的な取り組み	主な結果	自己評価及び課題等
生徒指導 (生活指導)	1、挨拶の励行と遅刻・欠席の防止をし、基本的な生活習慣を確立する。	○朝の通学路指導を実施し、教員が挨拶の声かけをする。また、遅刻多重回の生徒に対して段階的な指導を実施。	○欠席指数 H29 (2.28) ○遅刻指数 H29 (2.08)	○欠席指数は横ばい。遅刻率は減少した。今後も引き続き担任によるクラス全体指導と個別指導のきめ細かい指導を継続する。
	2、みだしなみ 頭髪・服装指導	○2 か月に一度徹底指導	○服装の乱れは以前よりも減少している。しかしネクタイの緩みが目立つ。	○1年生のネクタイの結び方指導と夏期ノーネクタイ期間以後の指導を強化する。
	3、登下校のマナーの向上および安全指導	○学年ごとに金山駅からの通学路を設定し、交通危険個所に教員を配置。通学路の安全を確保する。  ○愛知府中警察署管内の自転車安全安心モデル校として「自転車無事故無違反200日ラリー」に挑戦する。	○とくに年度初めに電車内のマナーについて指摘の電話を頂く事があった。  ○自転車通学者無事故無違反200日を達成し中署から表彰を受ける。(3年連続の受賞) ○愛知府中警察署と連携し、交通安全指導を2回実施。	○電車通学に慣れない1年生の初期段階での繰り返し指導の実施が必要である。 ○歩きスマホ厳禁の指導を強化する。 ○交通法令は浸透してきており、自宅から学校に自転車通学する生徒の事故はない。しかし交通機関を利用する生徒の自宅近辺での事故が多く、安全運転の意識啓発について保護者を含め、引き続き促す。

評価項目	重点項目	具体的な取り組み	主な結果	自己評価及び課題等
(特別指導)	<p>1、問題行動防止の意識向上</p> <p>2、被特別指導の再発をなくす。</p>	<p>○毎月1回全校放送で、また、毎日のS Tで担任が物事の善悪の判断や先々を考えた行動の実践を呼びかける。</p> <p>○特別指導後も教員が声かけ指導を実施する。</p>	<p>○愛知県中警察署と連携し、1学年にスマホ情報マナー講話実施(7月)</p> <p>○愛知県中警察署と連携し、3学年に薬物乱用防止講話実施(30年4月実施)</p> <p>○特別指導者数 前年度比5%増</p> <p>○再発者0名。</p>	<p>○被特別指導者は横ばい。携帯・スマホ・ネット関連の指導がまだまだ多い。教員・生徒・保護者の共通認識のもと継続して啓発指導をする。</p> <p>○問題行動者に対する指導方法・内容は的確である。</p>
進路指導	<p>1、キャリア教育の充実</p> <p>2、適切な希望校の選択</p> <p>3、進路の決定(就職)</p>	<p>○1学年よりLTを利用して進路学習を実施。</p> <p>○2学年7月にインターンシップ(就労体験)を実施</p> <p>○3学年4月に進路ガイダンスを実施</p> <p>○各学年外部講師による職業講話を実施</p> <p>○基礎学力テストを実施</p> <p>○面接指導を学年・渉外・進路主任を中心に実施</p> <p>○オープンキャンパス・学校説明会に積極的に参加させる。</p>	<p>○インターンシップ参加生徒数 H28 参加企業(56社149名) H29 参加企業(56社151名)</p> <p>○年間5回の課題テストを実施。</p> <p>○H29 進路状況 就職 282名(58.9%) 進学 197名(41.1%)</p>	<p>○インターンシップ(就労体験)の拡大が必要である。受入れ企業数・参加者数の増加を図る。</p> <p>○3学年進路ガイダンスで就職希望者は就職する目標を具体化させることができた。進学希望者は希望校の選択肢を増やすことにより、自分の実力にあった学校選びをすることができた。</p> <p>○学年でさらに学習補習・面接指導を増やし経験を重ねることが必要である。</p> <p>○今後も主体的な受験校の情報収集を促す。</p>

評価項目	重点項目	具体的な取り組み	主な結果	自己評価及び課題等
	(進学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校紹介 1 次内定率の向上。</li> <li>○学校紹介全員の内定。</li> <li>○工業系大学合格者の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 次内定率 H29 (85.9%)</li> <li>○内定率 H29 (100%)</li> <li>○H29 進学先状況 大学 (109名) 短大 (10名) 専門学校・その他 (78名)</li> <li>○工業系大学合格者 30名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 次内定率の向上に向け、適切な会社の紹介、また採用試験に向けた学力の養成が必要である。</li> <li>○資格優先で専門学校の希望者が多い。工業に対するの探究心を持たせる専門教科の指導が必要である。</li> </ul>
生徒会	<p>1、生徒会活動各委員会活動の連携と活性化</p> <p>2、地域に貢献できる活動への積極的参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会活動を活性化し、活動意識を高めると共に、委員会通信の発行で活動内容を明確にする。</li> <li>○ボランティア活動参加の呼びかけおよび活動実績の掲示。</li> <li>○ゼロの日の通学路清掃活動の実施。</li> <li>○橘座公演の実施。</li> <li>○第 53 回文化祭を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏期休暇中ボランティアに 138 名参加。</li> <li>○生徒会委員会生徒・野球部員・空手道部員などにより積極的なクリーン運動が展開された。</li> <li>○春・秋の 2 回落語会を実施。</li> <li>○伊勢山・橘両校舎にて実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各委員会の呼びかけや S T 等を利用した担任の指導により、委員会の活動内容が全生徒に伝わった。</li> <li>○夏期休暇中のボランティア活動、献血、あけぼの学園施設訪問等多くの生徒が参加した。さらに活動の企画を増やし、生徒の参加を促す。</li> <li>○地域に愛される学校づくりの一環として地道に活動を展開する。</li> <li>○地域に定着した行事として今後も地域とともに実施したい。</li> </ul>

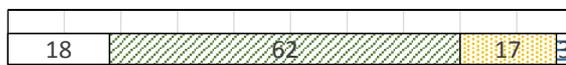
評価項目	重点項目	具体的な取り組み	主な結果	自己評価及び課題等
校務	1、施設・設備の管理	○校内設備による怪我ゼロを目標に破損箇所や機械の不備を常に点検し、早期修繕に努める。また、生徒に対し、危険因子を説明し、事故防止の意識を高める	○校内の教育設備を使用している事故はゼロであった。	○継続して安全点検を実行して安全状態を維持し、危険箇所の撲滅に努める。
	2、廃棄物減量	○環境に配慮しゴミの削減を実践して授業・食事のゴミ処理指導を徹底する。	○昨年比 7.8%の増量となった。 H28 15%増量	○日々の積み重ねが結果に繋がる事を意識させる方法を検討する必要がある。
	3、危機管理	○防災に対する知識や防災設備の使用についての教員・生徒の意識を高める。	○あいちシェイクアウトに参加	○校舎建築がすべて終了したので新たな危機管理の体制に改変する必要がある。
	4、保護者会活動の充実・学校行事への参加	○保護者役員会を年5回実施する。 ○全保護者に学校行事の案内をし、参加保護者の増加を図る。		○保護者との信頼関係が確立されており、教育活動の理解と協力の体制ができています。今後も生徒の幸せのために、保護者会活動を継続して実施したい。

# 平成29年度 3年保護者学校評価アンケート結果

□ 十分    ▨ ほぼ十分    ▩ やや不十分    □ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気良く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。



学校は生徒の実態に応じてわかりやすい授業を行っている。



学校は生徒に資格取得を通じ自信を持たせ、学習意欲を高めている。



学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。



学校は生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。



学校は生徒に対して、きめ細かい進路指導を行っている。



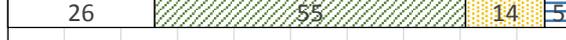
学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるように工夫している。



学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



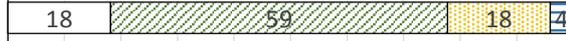
学校は美化活動がよくなされている。



学校はホームページや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知している。



◎ 提出率 328 / 479 = 68.5 [%]

## 平成29年度 保護者学校評価アンケート結果

□十分 □ほぼ十分 □やや不十分 □不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気良く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。



学校は生徒の実態に応じてわかりやすい授業を行っている。



学校は生徒に資格取得を通じ自信を持たせ、学習意欲を高めている。



学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。



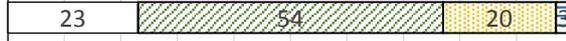
学校は生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。



学校は生徒に対して、きめ細かい進路指導を行っている。



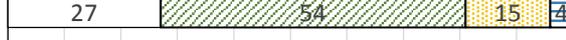
学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



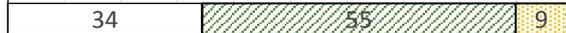
学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



学校は美化活動がよくなされている。



学校はホームページや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知している。



◎提出率 1,245 / 1,497 = 83.2 [%]